

【別紙1】 データサイエンス・オンライン講座 「誰でも使える統計オープンデータ」の概要

講座の目的：e-Stat（政府統計の総合窓口）※1、統計GIS※1・2、API機能※1・3を使い、統計オープンデータを活用したデータ分析の基本的な知識を習得する

開 講 日：平成30年12月4日（火）

学 習 時 間：1回10分程度×5～7回程度（1週間）×4週

課 題：各週の確認テストと最終課題の実施

講 師：西内啓氏（統計家）、小谷祐一郎氏（「GEEO※4」開発者）、
総務省統計局及び（独）統計センター職員

対 象：社会人・大学生



週	各週のテーマ	内 容
1	e-Stat※1を使ったデータ分析	e-Stat※1の統計データを活用したデータ分析の事例を学ぶ (e-Stat※1の機能紹介、活用事例紹介等)
2	公的統計データの使い方	公的統計データの基本事項及び読み方を学ぶ (公的統計の種類と体系、労働力調査・家計調査の基礎知識及び利用の際のポイント等)
3	統計GIS※1・2の活用	統計データと地図を組み合わせた統計GIS※1・2の活用方法を学ぶ (jSTAT MAPの機能紹介、簡単にできるレポート作成、活用事例紹介等)
4	統計オープンデータの高度利用	統計API機能※1・3の仕組みや具体的な活用事例等の統計オープンデータの高度な活用方法を学ぶ (統計APIの仕組み、統計オープンデータの活用事例、講座のまとめ等)

※1 平成30年1月のリニューアルを反映させた講義内容

※2 地図による小地域分析（jSTAT MAP）

※3 プログラムが自動でデータを取得できるようになる機能

※4 「GEEO（ジーオ）」は不動産販売価格予測サイト